

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○2月5日～

先週は週末に発表された米国の雇用統計が強い結果だったことで、ドル／円も週初めの下落分を取り戻し、148円台まで戻してマーケットが終わっています。

また、NYダウが高値更新し、38500を超えてきました。ダウは史上最高値をつける動きです。

日経平均は1月後半に37000円手前で失速し、調整入りかと思いましたが米国株の強い動きが止まらない限り、リスクオン相場が続くそうです。

株の世界では節分天井、彼岸底という格言があるので、そろそろ天井で3月にかけて下げてくる動きが出るかどうかにも注意して見ていきたいです。

米国の長期金利は昨年10月の5%程度から見ると下げっていますが再び上昇していくかどうか也很重要です。

米国の利下げ予想はややトーンダウンしていますが欧米の利下げの行方にマーケットの目は向いています。

FRBのパウエル議長も金利を長期間維持する用意があると発言しており、3月利下げの可能性より5月利下げの可能性が高くなってきているように見えます。

今週は米国での指標発表が少なく、株やそれ以外のニュースで動く可能性があるので、マーケット以外の情報にも気をつけておきたいです。

欧州は年内かなりの利下げを見込んでおり、4月にも利下げが始まるとの予想が増えています。

ユーロにとって利下げは下落要因になるので、中長期的にはユーロ／円も上値が重くなってくる可能性があります。

英国も欧米に比べるとインフレ率は高めですがインフレは少しずつおさまってきているため利下げを検討する時期にきています。

オーストラリアも今週の発表で金利据え置きが予想されており、今後は利下げに動く可能性もあるため上昇の勢いが弱まってくるかもしれません。

日本以外の国がいつから利下げに動くかが今後の注目材料になりそうです。

また、2月10日からの春節(旧正月)を前に中国の動向も気になります。

不動産バブルは崩壊し、債務残高が急増している状況です。

株価も他の国に比べて低迷しているため悪材料には注意したいです。

● テクニカルで見た重要ポイントは？

<ドル／円>

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

先週のドル／円は148円台から146円台まで木曜にかけて下げていたのを雇用統計の強い結果を受けて、一気に週初めからの下げ分を取り戻して、148円台半ばまで戻してマーケットが終わっています。

1月高値の148.8円を超える動きが出れば150円を目指す動きになりそうです。

下値は148円を割り込んでくると再度146円台まで下げてくる可能性もあるため買う場合は、しっかり下がるのを待った方がよさそうです。

145.8－148.8円のレンジをどちらにブレイクするかも注意しておきたいです。

<気になるクロス円>

クロス円は動きがばらばらで読みにくい状態です。

雇用統計後はドル高の動きがでているためドルに対して大きく下げている通貨は円に対しても下げているものもあります。

オセアニア通貨(豪ドル、NZドル)は下値不安があるので、安値更新の動きを警戒したいです。

カナダドルやユーロは比較的強い動きなので、高値更新していく可能性があります。

クロス円は株価の動きに連動しやすいので、米国株や日本株などの動きも見しておきたいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では12月貿易収支などがあります。

米国ではパウエル・FRB議長発言、1月サービス部門・総合PMI(改定値)、1月ISM非製造業景況指数、12月貿易収支、前週分新規失業保険申請件数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで1月サービス業PMI(改定値)、ユーロ圏で12月卸売物価指数、12月小売売上高、ドイツで12月製造業新規受注、12月鉱工業生産、1月消費者物価指数などがあります。

ほかには、オーストラリアで政策金利の発表などがあります。